

## 編集後記

今号には、「論文」「研究ノート」として4編の論考を掲載しました。第6号で懸念された投稿論文数の減少については、ひとまずは歯止めがかかった形です。しかしながら、創刊当初にくらべるとまだ投稿数が少ないようです。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。

さらに、シンポジウム「海外における中国都市史研究の現状」の開催に伴い、そこでの研究発表をもとにした論文とコメントを掲載しました。このシンポジウムの内容に鑑み、表紙デザインに中国風の配色のものを採用し、表紙写真にも中国の素材を用いました。

表紙デザインの作成についてはいつも、インビジブル・門田氏のお世話になっています。今回も、デザイン案を3つ作っていただき、門田氏にプレゼンテーションをしていただきました。

今号の編集作業は、第6号で試みたいいくつかの「改革」を踏襲し、それをさらに推し進める形でおこなってきました。文学研究科の「21世紀COEプログラム」もいよいよ最終年度を迎えることとなりますが、今後も本誌がよりよい学術雑誌となるよう、さらに努力を続けていきたいと考えております。

(仁木 宏・編集委員長／川邊光一・第7号編集主任)